

# 令和6年度トピックス

## ◆農産物共進会で意欲向上、旬の時期に即売会でPR

毎年、各生産部会では査定会や中間選別会で、農産物の目合わせを行います。情報共有や意見交換を密に行い、農産物の仕上がりを部員同士確認し合うことで、出荷の足並みを揃え、品質向上に努めています。さらに、共進会(コンテスト)を実施し、丹精込めて栽培した農産物の中から、より優れた農産物生産者を表彰することで、さらなる意欲向上や品質の向上を目指しています。また、昨年も旬を迎えた梨やニンジンのPR即売会を行い、消費者に直接販売することで、旬の農産物をアピールし、地産地消や消費拡大につなげることができました。



▲ニンジン・梨・ネギ・野菜や米などの各種共進会、販売PRイベントを開催しました。

## ◆「よったいよ」で桜まつり、夏の大感謝祭、秋の収穫祭開催

J A八千代市ファーマーズマーケット「よったいよ」では、様々なイベントを開催し、来店者が市内産農産物の旬を楽しみながら買い物ができるよう運営を行っています。また、SNSなどを活用することでタイムリーな情報発信を心掛けています。

昨年も『農家にエールを送ろう!』と題し、「桜まつり」を開催しました。桜の花を模した用紙に生産者への応援メッセージを記入し、元気を届ける企画を行い、たくさん集まった桜の花を店内に設置した木のイラストに飾り付けました。消費者からの気持ちがかもったメッセージで桜は満開になりました。夏と秋に開催したJA祭りでは、JAと生産者が協力し、夏は「トウモロコシの即売会」、秋には新米おにぎり1,400個の無料配布や八千代の梨が入った焼肉のタレを使用した肉野菜炒め販売の他、体験型イベントとして、市内生産者組織の協力のもと「サツマイモの収穫体験」を行い大好評でした。さらに、12月には3周年を迎えた「よったいよ」が日頃の感謝を込めて、先着200名への紅白餅の振る舞い・JAオリジナル商品が当たるガラポンなどを行いました。地域農業の更なる発展に向け様々な催し物を行い、生産者と消費者の交流の場として地産地消のメリットをアピールすることができました。



◀「桜まつり」、「トウモロコシ祭り」、「秋の収穫祭」、「よったいよ3周年」イベントの様子。

# JA八千代市の自己改革

JAグループでは、「食と農と組合員の暮らしを支え、地域社会にJAの価値を提供」～協同組合は変革し、時代とともに進化しつづける～のスローガンに基づき自己改革に取り組んでおります。

## 取り組みの柱

1

食料安全保障  
への貢献

2

豊かな暮らし  
・地域社会の  
活性化

3

JAの  
仲間づくり

4

健全・強固な  
経営基盤の  
確立

5

農業・  
JAへの理解・  
共感の醸成

JA八千代市においても、自己改革実現に向け、組合員や地域住民に必要とされるJAを目指した様々な取り組みを継続して行っております。

今回は、令和6年度に行った取り組みをご紹介します。

### ◆農業所得の増大に向けた取り組み

ファーマーズマーケット「よったいよ」では、各種イベントを毎年開催し地場農産物のアピールを行い、来店者がより身近で魅力的に感じる店舗作りを心掛けています。円滑な運営を行い、たくさんの方にご利用いただくことで地域の活性化と農業者の所得増大に繋がっています。



### ◆准組合員の声を経営に反映・運営参画を図る

JAグループが取り組んでいる自己改革の基本目標の一つ、「地域の活性化」にかかる取り組みは、准組合員を「農業や地域経済の発展を農業者と共に支えるパートナー」として位置付けています。地域に根ざしたJA運営を実現するため、「准組合員モニター」を募集し、意見交換を行っています。准組合員の皆様の声を経営に積極的に反映するとともに、一層の事業利用と組合員組織や協同活動への参加を進めてまいります。



### ◆各種生産組織のサポートを行い、消費者と生産者の架け橋に

青年部・女性部・フレッシュミズ・アンシャンテ倶楽部・ニンジン部会・ネギ部会・八千代市梨業組合・八千代市園芸協会など各種生産部会の活動を支援しています。それぞれの部会が活気づき、積極的に活動を行い、消費者との交流の機会を増やすことで、地元農業への理解促進や地場農産物のアピールを行っています。



この他にも様々な取り組みを行うことで、今後も当JAが地域になくてはならない存在であり続けられるよう、自己改革の実践を支える持続可能なJA経営基盤の確立・強化とともに、組合員の皆さまとの対話を通じ、総合事業を基本として『不断の自己改革』に引き続き全力で取り組んでまいります。